

かい き
怪鬼!



おお え やま よう かい や しき
大江山妖怪屋敷

日本の鬼の交流博物館

平成 30年 7月14日(土)~9月2日(日)

日本の鬼の交流博物館
25周年を祝うため、妖怪
たちが大江山に集まっ
た。その結果…博物館は
妖怪屋敷に!?

妖怪藝術団体百妖箱の
全面協力による夏の特別
展。暗闇に潜む鬼や妖怪
の姿に「ビヤッ」とする
こと間違いなし!

この夏、
大江山に妖怪大集合!



主催 日本の鬼の交流博物館
協力 妖怪藝術団体百妖箱(嵯峨美術大学)
京都一条妖怪ストリート(大將軍商店街振興組合)

怪鬼! 大江山妖怪屋敷

日本には“妖怪”がいる。江戸時代、妖怪は浮世絵、草双紙などで描かれることで広まり、マンガ、アニメ、ゲームなどで現代にも強い影響力を残している。日本人は昔から奇妙なモノを好む気質のようだ。だから妖怪は「怖い」「気持ち悪い」などと言われつつも親しまれるキャラクターであり続けているのだろう。“鬼”も同じことが言える。江戸時代には、妖怪の中の“鬼”として親しまれていたのだから…。大江山妖怪屋敷は、暗闇の中に潜む鬼や妖怪の様子を表現する特別展。開館25周年を迎えた日本の鬼の交流博物館は妖怪だらけ。

開催記念イベント

大江山寄席怪談噺

夜の妖怪屋敷で
こわ〜い噺を……

内容:「東海道四谷怪談〜お岩の最期〜」

林家染雀 ほか3席

出演:林家染雀、桂三扇、桂弥っこ
三味線:はやしや薫子

日時:8月3日(金) 18:00~20:00 (17:30開場)

場所:日本の鬼の交流博物館

定員:先着約80名(事前申込制)

料金:入館料のみ(乳幼児の入場はできません)

申込方法:申込先 [日本の鬼の交流博物館] TEL.0773 (56) 1996まで

※妖怪による入館者の出迎え及び写真撮影会も同時開催。



林家染雀

林家染雀
(はやしやそめじゃく)

落語家
(入門 四代目林家染丸)

出身地:大阪府八尾市

受賞歴

「大阪府芸術劇場奨励新人」(1997)認定
「なにわ芸術祭」第38回(2000)新人奨励賞
「なにわ芸術祭」第39回(2001)新人賞
「なにわ芸術祭」第39回(2001)大阪府知事賞
「なにわ芸術祭」第39回(2001)大阪市長賞
「大阪文化祭」(2000)奨励賞
「繁昌亭大賞」第12回(2017)大賞
「文化庁芸術祭」第72回(2017)関西参加公演の部



桂三扇

大江山モノノケ市

特別展期間中、全国の妖怪デザイナーが作ったオリジナル妖怪グッズを販売するモノノケ市が大江山に出現!



特別展プロデューサー 妖怪藝術団体 百妖箱

嵯峨美術大学の学生、OBを中心に構成された団体。全国各地で妖怪をテーマにした様々な地域振興活動を行っています。妖怪衣装、グッズ、作品の制作のほか、仮装イベントやフリーマーケットなどを企画運営し、地域の文化資源である「妖怪」をテーマに、創作活動による社会貢献の可能性を模索しています。京都最大の妖怪イベント「一条百鬼夜行」の企画運営・プロデュース、京都の夏の風物詩「嵐電妖怪電車」のプロデュースと妖怪派遣などのほか、オリジナル妖怪を販売するフリーマーケット「モノノケ市」の運営も行っています。

日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909

電話番号:0773(56)1996

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料:大人320円、高校生210円、子ども160円 ※団体割引あり

アクセス

- 京都縦貫道[舞鶴大江IC]出て約35分
- 京都丹後鉄道[大江山口内宮駅]下車、徒歩約50分
- 舞鶴若狭自動車道[福知山IC]出て約40分
- 京都丹後鉄道[大江駅]下車→市バス[大江山の家]下車、徒歩約2分

いがいと!
福知山

